

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：人文社会科学部

岩手大学人文社会科学部では、所定の課程を卒業し、以下に掲げる各課程・コースの学位授与の方針に該当する者に学位を授与する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：人間科学課程

【人間情報科学コース】

(知識・理解)

1. 人間とはどのような存在かを人間科学的及び情報科学的な方法で理解している。

(思考・判断)

2. その理解を人間科学と情報科学との横断領域（心理学など）で補完することによって、複雑化した現代社会における諸課題に適切に対処できる。

(関心・意欲)

3. 伝統的な人間科学と萌芽期にある情報科学との連携の中で、人間存在についての新たな学問のあり方を探求する能力をもっている。

(態度)

4. 人間に対する深い理解と広い視野に基づく学際的・総合的な課題探求能力を習得し、現代社会の様々な課題を全体的に把握し、それらの課題に適切かつ柔軟に対処できる。

(技能・表現)

5. 現代社会において、新たに直面する事象を自らの力で理解し判断する自発的課題探求を身につけている。

6. 他者との関わり、他者理解に際して、発表や討論を通じてのコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを習得している。

7. 経験（実習・実験）を通して、チームワークやリーダーシップなどの集団活動場面におけるスキルを習得している。

【行動科学コース】

(知識・理解)

1. 心理学的、社会的、地理学的アプローチによって得られた人間行動に関する知識を有し、人間行動とその諸条件を心理面と社会面の両側面から複眼的に理解することができる。

(思考・判断)

2. 現代社会における多様な人間行動をめぐる諸問題に適切に対処するために、多面的かつ全体関連的に思考し、判断し、積極的な提案を行うことができる。

(関心・意欲)

3. 人間行動に深い関心を持ち、現代社会における人間行動の探求と理解に強い意欲を持っている。

(態度)

4. 人間に対する深い理解と広い視野に基づく学際的・総合的な課題探求能力を習得し、現代社会の様々な課題を全体的に把握し、それらの課題に適切かつ柔軟に対処できる。
(技能・表現)
5. 現代社会において、新たに直面する事象を自らの力で理解し判断する自発的課題探求を身につけている。
6. 他者との関わり、他者理解に際して、発表や討論を通じてのコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを習得している。
7. 経験（実習・実験）を通して、チームワークやリーダーシップなどの集団活動場面におけるスキルを習得している。

国際文化課程の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【文化システムコース】

(知識・理解)

1. 現代社会の文化諸現象や地域文化を含む文化の動態について、広く新しい視座から理解するための知識を獲得している。

(思考・判断)

2. 現代の文化について、社会文化論、社会文化思想論、文化領域論、ジェンダー文化論、表象文化論、文化記号論、メディア文化論等の学問領域の研究方法を用いて、自ら設定した課題を批判的に考察することができる。

(技能・表現)

3. 現代の文化について、自らの理解を他者との議論を通じて深め、地域社会に文化的な発信・貢献を行うことができる。

(関心・意欲)

4. 現代の文化の諸課題について、自分の日常生活とも結びついた深い関心を持ち、それを探求する意欲をもっている。

【アジア文化コース】

(知識・理解)

1. 日本と中国を中心とするアジア地域に関する諸問題について、言語・文学・歴史・思想のそれぞれの分野を研究するのに必要な知識を獲得している。

(思考・判断)

2. 日本と中国を中心とするアジア地域に関する知見をもとに、世界の各地域の文化や各時代の文化を比較検討することを通して、自らの観点や価値判断を相対化し、問い直すことができる。

また、日本と中国を中心とするアジア地域に関する従来研究成果を、批判的に検討し、自らの見解を論理的に組み立てることができる。

(技能・表現)

3. 漢字文化圏の文献資料及び非文献資料を適切に取り扱い、読み解く能力を身につけている。

また、自らの見解を論理的に組み立て、資料に基づいて適切に発表することができる。

(関心・意欲)

4. 日本と中国を中心とするアジア地域に関する諸問題について、自ら課題を見出し、言語・文学・歴史・思想のそれぞれの方面から主体的に探求する意欲を持っている。

【欧米言語文化コース】

(知識・理解)

1. 欧米諸国（イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、ロシアのいずれか）の歴史・文化・文学・言語の諸相に関する知識を獲得している。

(思考・判断)

2. 欧米諸国を対象とした歴史学・文化・文学・言語学・コミュニケーション論のいずれかの学問領域の研究方法を用いて、自ら設定した課題を考察し、解決することができる。

(技能・表現)

3. 欧米諸言語のコミュニケーション能力を用いて、自分の考えを口頭や文章によって伝えることができる。

(関心・意欲)

4. 欧米諸国の歴史・文化・文学・言語・コミュニケーションに関する諸問題に深い関心を持ち、それを探求する意欲をもっている。

*ただし、歴史領域に関しては上記の5か国を対象を限定しない。

法学・経済課程の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【法学コース】

(知識・理解)

1. 法学を体系的に学ぶことにより、その幅広い知識と理論を習得している。
2. 法令を正確に理解する能力を習得している。
3. 判例を正確に理解する能力を習得している。

(思考・判断)

4. 法的な思考力（リーガルマインド）を身につけている。
5. 法令を客観的に解釈する力を身につけている。
6. 判例を客観的に解釈する力を身につけている。

(関心・意欲・態度)

7. 社会や地域が抱える様々な法的問題を意識し、正確に認識することができる能力を身につけている。
8. 社会や地域が抱える様々な法的問題に対して、能動的に取り組むことのできる能力を身につけている。

(技能・表現)

9. 法的な課題に対して、自らの見解、論理を正確に相手に伝え、それに対する相手の意見を

正確に理解しながら自らの見解を再検討できる能力を身につけている。

10. 判例、専門書等の収集した資料から、客観性のある分析ができる能力を身につけている。

【経済コース】

(知識・理解)

1. 経済学、経営学、会計学などの基礎知識を修得し、これらの基礎知識を踏まえて経済社会のしくみを理論的・総合的に理解している。
2. 経済学的素養に加えて、法律学、政治学の基礎知識を修得し、現代社会のしくみを理論的・総合的に理解している。

(思考・判断)

3. 経済学的素養に基づいて、高度に発達した現代社会のしくみを総合的・複合的に思考するすなわち経済学的思考をすることができる。
4. 経済学的思考に基づいて、現代社会が抱えるさまざまな課題を分析できる。

(関心・意欲)

5. 経済学的な基礎知識を踏まえて、理論的、歴史的、政策的分析をおこない、国際社会及び地域社会の課題に主体的・実践的に取り組むことができる。
6. 他者の意見を聞き、また同時に自分の意見を構築し伝えることができる。

(態度)

7. 総合的な分析力に基づいて物事を主体的に考え、柔軟で前向きな姿勢をもっている。
8. 現代社会の多様性を理解するとともに、創造的な思考力と積極的な行動力をもっている。

(技能・表現)

9. 資料分析や歴史分析に基づいて経済現象を実証的に評価し、それらに基づく政策的判断ができる。
10. 自分の意見や見解を積極的に社会に伝えることができる。

環境科学課程の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【環境科学コース】

(知識・理解)

1. 自然環境とそこでの人間・社会のあり方について、人文社会・自然科学諸分野の専門的観点からの幅広い教養・知識を身につけている。
2. 環境の問題の解決、「持続可能な共生社会」の構築に向けて、人間・社会と自然環境相互の関わりを踏まえ、総合的・学際的に把握していく重要性をよく理解している。
3. 環境科学の諸分野における研究手法、とりわけ科学的な情報・データ収集方法を理解している。

(思考・判断)

4. 自然環境と人間・社会のあり方、環境をめぐる様々な問題について、環境科学諸分野のいずれかの領域の研究手法を用い、考察できる。
5. 環境問題の解決、「持続可能な共生社会」構築のために、総合的・学際的に思考・判断し、

具体的方策を提案できる。

(関心・意欲)

6. 地球規模から身近な地域まで、多岐にわたる環境の問題に強い関心を持っている。
7. 文献によって論理的に思考するにとどまらず、問題の現場（フィールド）に積極的にかかかっていき、自然や社会的現実の把握を通じ、実態解明や解決策を探究しようとする意欲を持っている。
8. 環境に関わる人文社会・自然科学諸分野の多角的な視点からの見解や、他者からの意見を柔軟に取り入れる姿勢を持っている。

(態度)

9. 人間・社会と自然環境との関わりについての幅広い知識を身につけ、環境をめぐる問題の解決に求められる科学的・客観的な情報の収集及び議論を積極的に行うことができる。
10. 環境問題の解決、「持続可能な共生社会」の構築に向け、他者と協調しながら主体的・継続的に取り組むことができる。

(技能・表現)

11. 環境科学諸分野の研究手法に基づき、自らの見解を論理的に思考・判断したプロセスや結果を的確に発表し、他者の声に耳を傾けながら討議する、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている。
12. 実際の環境をめぐる問題の把握・解決のため、文献やフィールドでの調査・実験等から収集した情報・データを、科学的に分析・評価することができる。